

ボキャブラリの重要性

多くの日本人は長年、英語の文法を勉強しているが、なかなか自然な英語を話せない。文法は一つの言語のほんの一部だけだ。自然な英語を話すため、最も大切なのは、ボキャブラリである。

英語の単語といえば、数千個もある。でもネイティブスピーカー達は常にその数千個の中のほんの一部しか使わない。それでも、彼らは自分の意見や、感想などの表現が問題なく上手に出来る。それはなぜだろうか。主な原因はいくつかあると思われる：

原因、その一、彼らはいつも単語と単語を結びつけて、いわゆる、「連語」(collocations)を使う。例えば、*make + mistake = make (a big/serious) mistake; get + upset = get (very/extremely) upset; take + break = take (a 10-minute) break; etc.*

その二、彼らはいつも「固定された表現」(fixed expressions)を使う。例えば、*as a matter of fact; by the way; on the other hand; etc.*

その三、彼らはたくさんの「慣用語句」(idiomatic expressions)を使う。例えば、*“He’s just pulling your leg.”*

また、彼らは多くの「句動詞」(phrasal verbs)を使う。例えば、*put off; take over; bring up; etc.*

以上の例を読んだら解ると思うが、ネイティブスピーカー達は、難しい単語を使わず、単語のコンビネーションを使うことが多い。実は、多くの単語本来は意味がない。(例えば、“as”, “of”, “point”などの意味はいえるでしょうか。)

従って、自然な英語を使うため、たくさんの「連語」(collocations)、「固定された表現」(fixed expressions)、「慣用語句」(idiomatic expressions)、と「句動詞」(phrasal verbs)を身につけなければならない。

要するに、いくら文法を勉強しても、英語の活用はなかなかできない。逆に、ボキャブラリを勉強すればするほど、流暢に自然な英語を話せる。

ボキャブラリの習得する方法は次回お知らせします。お見逃しなく！